

救命講習等実施状況

区分	普通救命講習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ		上級救命講習		救命入門コース		合 計	
	実施回数	受講者数	実施回数	受講者数	実施回数	受講者数	実施回数	受講者数
6年中～16年中	512	11,505	24	598			450	10,476
17年中	79	1,886	3	29			82	1,915
18年中	138	3,069	3	88			141	3,157
19年中	152	3,446	11	308			163	3,754
20年中	146	3,704	13	346			159	4,050
21年中	123	3,068	10	287			133	3,355
22年中	150	4,187	10	260			160	4,447
23年中	156	3,961	10	275			166	4,447
24年中	139	3,940	7	187	14	405	160	4,532
25年中	156	4,080	6	137	24	601	186	4,818
26年中	142	3,819	7	156	16	379	165	4,354
27年中	133	3,512	7	135	20	445	160	4,092
28年中	133	3,451	6	115	23	549	162	4,115
29年中	128	3,288	8	135	19	446	155	3,869
30年中	138	3,436	8	155	21	576	167	4,167
元年中	108	2,942	8	147	29	662	145	3,751
2年中	4	41	1	18	0	0	5	59
3年中	8	96	0	0	0	0	8	96
4年中	38	362	0	0	0	0	38	362
5年中	59	920	3	33	8	214	70	1,167
6年中	72	1,116	6	114	15	308	93	1,538
合 計	2,714	65,829	151	3,523	189	4,585	2,968	72,521

救命の連鎖



急変した傷病者を救命し、社会復帰するために必要となる一連の行為を「救命の連鎖」と言います。「救命の連鎖」を構成する4つの輪が迅速につながると救命の効果が高まります。

※平成24年度から小児・乳幼児に対応した普通救命講習Ⅲを実施しています。
 ※令和2年度以降は、新型コロナウイルス感染症まん延に伴い、すべての救急講習が従来通り開催できませんでした。